

平成 22 年 3 月 18 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」
第 11 回議事録

開催日時：平成 22 年 1 月 7 日 17:00～18:45

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、藍原委員、伊香賀委員、小林委員、坂牛委員、恒次委員、中島委員、麓委員、山羽委員、高村（記）（WG 委員を含む）大城氏、大津氏、工藤氏、田中氏、南部氏（オブザーバー）

配布資料：

- 11-1 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 10 回 議事録（高村）
- 11-2 木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会＋ワーキンググループ 第 11 回、報告書目次案（五十田幹事）
- 11-3 2008～2009 年度調査研究関係委員会活動報告に当たってのお願い（浅野主査）
- 11-4 木質バイオマス委員会 マテ&エネ WG 目次案（小林委員）
- 11-5 ホームページについて（高村）
- 11-6 欠点をデザインする サンプスギ被害木を利用した家具プロジェクト（坂牛）

報告：

(1) 前回議事録の確認

資料 11-1 にもとづき前回議事録の確認を行い承認された。配布資料 10-1：第 10 回を第 9 回に修正。審議(1)-1-2：部止まりを歩止まりに修正。

(2) 2010 年度開始特別研究委員会について（浅野主査）

浅野主査より次年度以降の採択の可能性が高い旨報告があった。

審議：

(1) 調査研究関係委員会活動報告会について（浅野主査）

浅野主査より調査研究関係委員会活動報告会が 3 月 19 日に開催される旨報告があった。報告会での配布資料については主査と幹事で作成し、次回委員会で確認をする。

(2) 報告書について

(2)-1 報告書全般について（五十田幹事）

報告書全般に関して、以下の点について確認と検討をし、決定した。

- ・ 頒布しないこととする。
- ・ 配布先は学術推進委員会と学会図書館であることを確認した。
- ・ 議事録は載せないこととする。
- ・ 6 月末までに必ず提出する。

- ・ 査読は無いことを確認した。
- ・ 印刷費は確保されている。旅費の支出は今回までとする。
- ・ 各委員へは DVD で配布する。

(2)-2 全体の目次について（五十田幹事）

五十田幹事より資料 11-2 にもとづき、報告書の目次案の説明があった。以下の点検討し、決定した。

- ・ 各 WG の活動内容を記述する章のタイトルや構成は各 WG 主査に決めて頂く。
- ・ マテリアル利用・再生 WG とバイオマスエネルギー利活用 WG は合同で活動しているため、章をひとつにする。
- ・ 今後の課題を追加する（付録の前）。
- ・ 執筆担当者を以下の通りとする。
 - ・ 1.1 はじめに～1.3 スケジュール：五十田幹事
 - ・ 1.4 研究概要：各 WG 主査
 - ・ 2 章（マテリアル利用・再生 WG、バイオマスエネルギー利活用 WG）、3 章（建物地域システム検討 WG）：各 WG 主査
 - ・ 付録の参考文献：各 WG 主査
- ・ 付録の収集事例リストは削除する。
- ・ 目次の修正版と報告書のフォーマットを五十田幹事がメール配信する。

(2)-3 WG の目次について

(2)-3-1 マテリアル利用・再生 WG、バイオマスエネルギー利活用 WG（小林委員）

小林委員より、資料 11-4 にもとづき目次案の説明があった。

(2)-3-2 建物地域システム検討 WG（五十田幹事）

五十田幹事より、資料 11-2 にもとづき目次案の説明があった。

(2)-4 スケジュールについて（浅野主査）

原稿の締め切りを平成 22 年 3 月末とする。その後確認作業を行い、完成を 5 月末とする。6 月上旬に学会に提出する。

(3) ホームページについて（高村）

高村より資料 11-5 にもとづき、ホームページに準備状況について説明があった。本委員会に対する意見を募ることも視野に入れ、3 月中にアップすることとした。

(4) 他学会とのかかわりについて

- ・ 講演会開催時に共催になってもらうことを目指して進める。
- ・ 木材学会、土木学会、森林学会について検討する。
- ・ 本学会の他の委員会とのかかわりについて主査と幹事で検討する。
- ・ 他学会の本委員会に関係する活動内容について恒次委員に調査して頂く。

(5) サンプスギ被害木を利用した家具プロジェクトについて（坂牛委員）

坂牛委員より未利用材の活用例として資料 11-6 にもとづきサンプスギ被害木利用した家具の紹介があった。

(6) ウイーン工科大学の研究者について（坂牛委員）

ウイーン工科大学で中層木構造の研究をしている方の紹介が坂牛委員からあった。来年度もウイーンにいるため委員としての参加は困難であるが、帰国時などにレクチャーなどの情報提供をして頂くこととした。

(7) 次回委員会

アンケートをとり決定する。（五十田幹事）

【議題】

- ・来年度発足委員会のフレームについて。原案を五十田幹事に作成して頂く。
- ・主査、幹事について